HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「楡蔭」137号
Issue Date	2011-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66245
Type	journal
File Information	yuin137.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ISSN 0917-3684

Hokkaido University Library Bulletin No.137 Mar.2011

掬薀

Yuin 北海道大学附属図書館報

目　　次

図書館職員としての抱負
　管理課・利用支援課…… 1
お知らせ
・「鈴木章名誉教授ノーベル賞受賞記念図書展示」を開催しました…… 7
・国立女性教育会館所蔵図書の貸出サービス実施中… 9
・国立大学図書館協会北海道地区協会セミナー「次世代ライブラリアンシップのための基礎知識　第 2 回」…10
・図書リサイクルの結果報告……11
・来館日誌（平成22年10月～平成23年 2 月）…11
・北大図書館の「ひと」と「しごと」……12
教員著作寄贈図書……13
平成22年度特別図書購入費による購入資料……14
HUSCAP世界ランキング第 5 位！
学術成果コレクション（HUSCAP）収録文献……19
会議（平成22年10月 1 日～平成23年 2 月28日）…20
人事往来……21
図書館情報入門・セミナー等開講日誌
（平成22年10月 1 日～平成23年 2 月28日）……22
図書館日誌
（平成22年10月 1 日～平成23年 2 月28日）
……23

図書館職員としての抱負

附属図書館には，今年度 4 名の新規採用職員がいます。今号では，彼ら彼女らに新人ならではの視点で，大学図書館のあり方やそれに対する自分の気持ち，思いを語ってもらいました。

今後，わが図書館の中核を担うであろう新人たちの抱負をご覧ください。

「大学図書館の在り方・大学図書館職員としての抱負」

管理課（雑誌受入担当）　**菊地　隆憲**

皆様，はじめまして。2010年11月より中途採用されました菊地と申します。

さて，「大学図書館の在り方」とテーマを与えられたのですが，図書館業務に今まで携わってきた事のない私が大層な事も言えないので，学生時代・転職前に図書館について思っていた

事を徒然と書いていきたいと思います。

まずは学生時代。札幌の自宅から小樽の大学に通うにあたり，かかる通学時間は片道１時間半以上。そのうち１時間程度は電車の中で大人しくしているしかないという状況でしたが，そんな時に力になってくれたのが大学図書館でした。市内の図書館では待ち人数が100人を超える本でも大学図書館ならばすぐに借りられたり，自分の大学図書館に無ければ，他大学の図書館で借りる事が出来たり，非常に便利な存在と感じたものです。

続いて社会人時代。以前，私は東京の会社に勤めていました。ここでも通勤に１時間半かかることもあり，引き続き本が手放せない状況となったため，家の近くの図書館を利用する事にしました。東京の中でも市や区によって連携している図書館が限られてくるのが，少しネックではありましたが，それでも読みたい本はほとんど手に入るのがとても魅力的でした。

違う魅力に気づいたのは転職する時でした。北海道大学職員採用試験を受けるにあたり落ち着ける場所を探した結果，やはり一番落ち着いて勉強できるのが図書館でした。落ち着けるだけでなく勉強を進めるにあたり欲しい資料があれば，すぐに読むことが出来るのも非常に助かりました。

的確にかつすぐに自分の知りたい情報を，また集中したい時に落ち着ける場所を提供してくれる。使い古された言葉ではありますが，図書館にはそういった場であって欲しいと思います。特に学生が多い大学図書館としては，一般の図書館に比べそういった事がより求められているのだと思っています。

最後に大学図書館職員としての抱負を。

まず自分自身についてですが，私はこれまで図書館とは全く無縁の仕事や勉強をしてきましたので，ここに来た時には全くと言っていいほど本についての知識は無い状況でした。そのため知識の定着として，まずは課内で用意されて

いるマニュアルの熟読や司書としての学習を進める事で，図書館職員としての知識・スキルを取得したいと思います。

また，図書館への貢献として，昨今の状況では官民関係なくコスト削減が叫ばれる時代になっています。まだまだ私も勤め始めたばかりで状況も把握できていませんが，これから経験を積んでいく事で，自分自身や他の方の作業効率化に協力し，コスト削減を図ることができればと思っています。そしてその浮いた費用を蔵書購入や設備投資など，より充実した図書館作りに当てられればよいと思います。

まだまだ半人前にすらなれていないようなひよっ子の私ですが，早く一人前の図書館職員となれるよう日々精進していきたいと思います。

（平成22年11月採用）

毎日の積み重ねを大切にして

利用支援課（相互利用担当）　**笠井　美由紀**

私は昨年10月から，附属図書館の相互利用担当に配属になり勤務させていただいています。今は複写受付担当として，全国の大学図書館や病院その他の機関から依頼された文献をコピーして送付する業務にあたっており，書庫とコピー機の間を往復する毎日です。これまで公共図書館や昨年９月までは北図書館の事務補助員として，閲覧担当の勤務経験はあったのですが，自分が配属されるまで相互利用の仕事がどんなものかというのは，漠然としたイメージのみでよく分かっていませんでした。実際に業務に就いてみると依頼された先の図書館の方々と連絡を取り合うのはもちろん，学内の色々な部署の方たちに問い合わせをする機会も多く，請求書の発行などは金銭に関わるので緊張する場面もありますが，その分，顔を覚えていただけたり，資料に対しても「こんな本も所蔵しているのか」と新たな発見があったり，他の方の仕事の様子を見ながら自分の参考にしたりと，良い刺激を受けながら過ごす事ができています。

日々たくさんの複写依頼を受ける中で，北大の図書館は貴重な資料や古い雑誌の所蔵も多く，蔵書に恵まれていることを実感します。電子ジャーナルやHUSCAPなどの機関リポジトリの数が増加しWEB上で多くの文献が閲覧・ダウンロードできるようになっていても紙媒体の需要が完全に無くなることはないと思いますし，必要な時にすぐ現物にあたることができる環境が整っている，というのも大学図書館として研究や調査をサポートする上で大切なことだと改めて考えさせられました。

閲覧の仕事でカウンターに立って直接利用者と向き合っていた頃，求める資料が利用者にきちんと渡った時の相手の笑顔を見るのが好きで，そこに充実感を感じていましたが，相互利用の仕事もそれと同じで，他館から依頼された時に直接相手は見えなくとも，自分がコピーした文献（もしくは北大から貸出した本）がどこかの誰かの手に渡って喜ばれていると考えると，とても素敵でやりがいのある仕事だと思います。採用から５カ月が経ちやっと相互利用の仕事の全体の流れが見えてきた段階ですので，まだまだ覚えるべきことが山程あり，一つ理解したとたんにまた別の疑問が生まれて質問するのを繰り返し，周りの方々の助けがあってやっと仕事できているような状況ですが，少しずつでも調査・研究のお役に立てるよう，依頼された資料を正確に申込者にお届けするという事を第一に考え，一歩一歩着実に仕事に取り組んでいこうと思います。

（平成22年10月採用）

高等教育と学術研究の中核施設として

利用支援課（本館閲覧担当）　**佐々木　翼**

大学図書館は「大学の心臓」とたとえられることがあります。このたとえは，大学図書館が，大学の目的である高等教育や学術研究を支える上で不可欠な役割を担う施設であることを表しています。附属図書館では教育や研究を支援するため，リテラシー教育などの利用者教育，図書や電子ジャーナルなど資料の充実，機関リポジトリHUSCAPによる学術成果の発信など様々な取組みを行っています。

しかし，図書館が教育や研究において必要不可欠な施設であるという認識は，利用者にとってまだまだ薄いと私は感じています。今まで以上に広く多くの学生に図書館が役に立つ施設であることを周知する必要があるように思います。

例えば，図書館には学習や研究のための資料が揃えてあるだけでなく，コンピュータ機器もあり，レポート作成などで情報収集から文書作成まで一元して行えます。求める情報の探し方がわからない，あるいは図書館に求める情報がない場合でも，文献の探索をサポートすることや，必要に応じて他機関から文献を取り寄せることもできます。

他にも，図書館では大学での居場所としての機能もあります。自習のために集中して勉強できる場がほしい，授業の合間に読書をしたい，静かな場所で休憩を取りたいなど図書館は多様な目的に対応できる場所でもあります。

この他にも様々な機能があり，私は多くの学生にそのことを知ってもらい図書館を学生生活の中心となる施設として利用してもらいたいと思っています。そのためにも，学生生活を送る上で図書館がどのように活用できるのかを伝えていきたいです。

さらに，図書館は学生や教員だけでなく，一般の方や卒業生，他機関の研究者など学外の方も多く利用し，求められるサービスも多岐にわたります。私の担当するカウンターでの仕事は，他の担当に比べ，特に利用者と直に接する機会が多いのが特徴です。多様な利用者とのやり取りのなかで，図書館に何が求められているかをくみ取って，多くの方に今まで以上に快適で有益な利用環境を提供できるよう努めていきたいです。

（平成22年４月採用）

北大図書館で働くこと

管理課（雑誌受入担当）　大甕（おおみか）　あさみ

大学生の頃，通っていた大学の図書館で２年間，私は夜間カウンター業務のアルバイトをしていました。元々図書館で働くことに憧れてはいたのですが，どちらかというと公共図書館の方が身近で大学図書館に勤めることなんて想像もしていなかった私にとっては，このアルバイトが将来を左右することになるとは全く思いもよらないことでした。

ある時，学生から卒業論文の参考文献を探しているという問合せを受けました。調べてはみたものの自分にはさっぱりわからなかった掲載誌や所蔵などの情報を，職員の方があっという間に調べて回答しているのを見て「すごい！」と感動したのが，大学図書館で働きたいと思うようになったきっかけです。その後もアルバイトでの経験や図書館サービスの利用を通して大学図書館の仕事に段々と興味を持つようになり，将来の職業として目指すようになりました。

それから数年が過ぎ，いくつかの職場を経て，今私は附属図書館で雑誌や電子ジャーナルに関する業務を担当しています。これまでの職場とは環境や雰囲気が違い，またアルバイトの時には知らなかったことも多く，採用から１年が過ぎようとしている今でも勉強の毎日です。

北大に採用となる前は他大学に勤務しており，図書館での勤務も経験しました。小さな大学で図書館に配属されている職員も少なかったため，それぞれが複数の業務を受け持っており，私も閲覧や雑誌の契約・ 受入，文献複写などを担当していました。北大図書館に来て最も強く感じたことは，大学の規模が違えば仕事の内容も進め方も全然違う，ということです。イメージは

していたものの，実際はそれを遥かに超えていて，驚きの連続でした。以前の職場では２，３人で対応してきたことも，ここでは10人以上が関わり，労力もかかる時間も全く違います。また以前は，図書館での経験を積んだ先輩が少なく，わからないことがあっても１人で試行錯誤して解決するしかない時もあり，正しい判断や対応ができているのか内心不安に思う時もありました。北大ではどの先輩も図書館での経験を長く積まれているので，何かあった際にもすぐに相談することができ，心強いです。

ただ，小さい大学にいたからこそ学べたことも数多くあります。直接的に今の業務に活かせることばかりではありませんが，これまでの経験を通して身に付けてきたことを忘れず，自分なりの視点を持ちながら業務に取り組んでいければと感じています。

これからの北大図書館はどうあるべきなのか，今の私にはその姿はまだ見えていません。ですが，利用者の方は北大図書館に何を求めているのか，ということを考えながら日々の業務に取り組むことで，少しずつでもその姿は見えてくるはずです。これからの北海道大学，そしてより良い図書館のために自分には何ができるか，課題として考え続けていきたいと思っています。

（平成22年４月採用）

お 知 ら せ

「鈴木章名誉教授ノーベル賞受賞記念図書展示」を開催しました

平成22年11月８日（月）から１月13日（木）まで，北図書館２階カウンター前にて，鈴木章名誉教授のノーベル化学賞受賞を記念した企画展示を開催しました。

先生のご著作や関連図書のほか，工学部のご好意により，先生がご自分の研究を決めるきっかけとなった「Hydroboration」（工学部中央図書室所蔵）や本学を退官される際に作成された記念誌「ホウ素と有機合成:鈴木章教授退官記念誌」（工学部材料化学系専攻図書室所蔵）などを展示しました。

また，ノーベル賞に関連した北図書館所蔵の図書やHUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）所収の先生の論文，先生の受賞を報じる新聞記事などもあわせて展示しました。

展示風景

展示図書のうち，鈴木名誉教授ご著作または関連する図書等は次の通りです。

	書　　名　　等	備　　考
1	Hydroboration / Herbert C. Brown , 1962	(工学部所蔵)
2	有機金属化合物を用いる合成反応 (上) / 鈴木章，伊藤健児，若松八郎，1974	
3	オレフィン類から位置選択的にカルボン酸を製造する方法に関する研究 / 研究代表者 鈴木章，1983	科学研究費補助金報告書
4	ハロボレーション反応を利用した高選択的有機合成に関する研究 / 研究代表者 鈴木章，1986	科学研究費補助金報告書
5	ホウ素と有機合成 : 鈴木章教授退官記念誌 / 北海道大学工学部応用化学科応用化学第三講座［編]，1994	退官記念誌 (工学部所蔵)
6	有機ホウ素化合物を用いた高選択的炭素-炭素結合形成反応の開発 / 研究代表者 鈴木章，1994	科学研究費補助金報告書
7	Suzuki coupling / Akira Suzuki, Herbert C. Brown, 2003	
8	Organoboranes in organic syntheses / Akira Suzuki, 2004	
9	化学者たちの感動の瞬間 : 興奮に満ちた51の発見物語 / 有機合成化学協会編，2006	
10	Heterocycles: an international journal for reviews and communications in heterocyclic chemistry, vol.80,no1, 2010	鈴木章先生傘寿記念号

(刊行年順。特に記載のないものは附属図書館所蔵)

(北図書館)

国立女性教育会館所蔵図書の貸出サービス実施中

北図書館では，１月17日（月）から１年間，国立女性教育会館・女性教育情報センターのパッケージ貸出サービスを利用した図書の貸出サービスを始めました。

国立女性教育会館とは，男女共同参画社会の形成を目指した女性教育に関するナショナルセンターです。女性教育情報センターは，男女共同参画や女性・家庭・家族に関する専門図書館で，多くの方に活用してもらうため，テーマごとに選定したパッケージを大学や女性関連施設，公共図書館等に貸出するサービスを行っています。今回，北大でもこのサービスを利用することになりました。

４ヶ月ごとに図書の内容は入れ替わります。１月から４月までは，「生き方」「大学」「コミュニケーション」「セクシュアリティ」「男女共同参画」というテーマによる200冊です。

本学の学生・大学院生や教職員など附属図書館利用証をお持ちの方はどなたでも借りることができます。どうぞご利用ください。

実施期間（第１回）：平成23年１月17日（月）～平成23年４月28日（木）
配架場所：北図書館２階カウンター前
貸出期間：15日間
貸出冊数：２冊（北図書館の貸出冊数とは別枠になります。）

※　図書入替のため，一時的に閲覧のみの利用となる場合があります。詳細は図書館HPや館内の掲示でお知らせします。

展示風景

（北図書館）

国立大学図書館協会北海道地区協会セミナー「次世代ライブラリアンシップのための基礎知識 第２回」

平成22年10月８日（金），遠友学舎において，国立大学図書館協会北海道地区協会が主催するセミナー「次世代ライブラリアンシップのための基礎知識 第２回」が開催され，道内外から研究者・学生を含む59名の参加がありました。

このセミナーは，国立大学図書館協会地区協会助成事業として開催されたもので，また「オープンアクセスウィーク2010」の「プレ・オープンアクセスウィーク」イベントとして企画されました。

「オープンアクセス，ポスト・ビックディール，大学図書館」（講師：加藤憲二静岡大学附属図書館長）と「電子ジャーナル契約の諸相 続」（講師：尾城孝一東京大学附属図書館情報管理課長）の２つの講演に続いて，３つの事例報告「一般人を対象としたオープンアクセス論文の利用状況に関する調査」（筑波大学），「rliaisonプロジェクト」（小樽商科大学・北海道大学），「もっとオープンアクセスウイーク！」（デジタルリポジトリ連合）があり，続いて行われたパネルディスカッション及びフロアとの意見交換では，参加者と講演者の活発な意見交換が行われました。

講演に熱心に聞き入る参加者

パネルディスカッション及びフロアとの意見交換

（管理課）

図書リサイクルの結果報告

附属図書館では，重複している図書の一部の登録を取り消しました。これらの図書を有効活用するため学内教職員・学生に差し上げることにし，平成22年12月８日（水）～24日（金）の期間，希望者を募りました。

対象となった図書8,938冊に対し，170名の方から2,056冊の申込がありました。

重複して申し込みのあった648冊を除き，1,408冊（151名）の図書を希望者にお渡ししました。

希望が多かった部局は，学部学生では理学部と法学部，大学院生では農学部と文学部，教員は農学部と経済学部でした。集計結果は以下のとおりです。

リサイクル図書集計結果（実施期間：H22.12. 8 ～12.24）

身　分	引渡人数	引渡冊数
学 部 生	36名	224冊
大学院生	66名	579冊
学生小計	102名	803冊
教　　員	45名	594冊
職　　員	4 名	11冊
教職員小計	49名	605冊
合　計	151名	1,408冊

（管理課）

来　館　日　誌

（平成22年10月～平成23年２月）

No.	来　館　者	来 館 日	時　間	人数	備　考
1	札幌市立北白石中学校	10月８日(金)	10:15－11:30	38	図書館見学
2	文部科学省研究振興局 岩本情報課長他	10月22日(金)	15:00－15:40	2	北方資料室視察
3	東北大学附属図書館医学分館 村上総務係長	11月18日(木)	14:00－16:00	1	図書館見学
4	東京農業大学 友田学術情報センター長他	２月19日(土)	15:00－17:00	3	図書館見学
5	東京農業大学学術情報センター 西嶋学芸員	２月21日(月)	10:00－15:00	1	北方資料室見学他
	計			45	

（利用支援課）

北大図書館の「ひと」と「しごと」

－図書館ホームページに業務紹介ページを新設－

附属図書館では，１月下旬に図書館ホームページの採用情報を更新すると共に，採用応募者に向けて具体的な業務の事例を紹介する『北大図書館の「ひと」と「しごと」』というページを新設しました。

http://www.lib.hokudai.ac.jp/modules/tinyd11/index.php?id=15

このページでは，８名の職員が自身の業務や出張，ワーキンググループでの取り組みをそのときどきの思いやエピソードを交えて紹介するとともに，図書館の特色や魅力にも触れています。

大学図書館への就職を考えられている方々をはじめ，広くみなさまに図書館について，より身近に，興味深く感じていただけると幸いです。

教員著作寄贈図書

（平成22年10月 1 日～平成23年 1 月31日）

寄贈者（敬称略）	所属部局	寄贈図書	所在
大学院文学研究科	大学院文学研究科	現代タイの社会的排除 : 教育，医療，社会参加の機会を求めて / 櫻井義秀，道信良子編著. - 松戸 : 梓出版社， 2010.3	本館･開架･教員著作
			北図書館
鈴木　敏正	大学院教育学研究院	現代教育計画論への道程 : 城戸構想から「新しい教育学」へ / 鈴木敏正著. - 東京 : 大月書店，2008.11	本館･開架･教員著作
			北図書館
鈴木　敏正	大学院教育学研究院	教育学をひらく : 自己解放から教育自治へ / 鈴木敏正著. - 新版. - 東京 : 青木書店，2009.1	本館･開架･教員著作
			北図書館
佐藤　冬樹	北方生物圏フィールド科学センター	森への働きかけ : 森林美学の新体系構築に向けて / 小池 孝良，芝正己，仁多見俊夫，山田容三，佐藤冬樹編 ; 特装版. - 大津 : 海青社，2010.10	本館･開架･教員著作
			北図書館

ご恵贈誠にありがとうございました。

図書館では本学教員が執筆した図書を収集しています。新たに本を出版される際には，是非ご恵贈くださるようご協力お願い致します。また，北京大学図書館との相互交流および協力に関する覚書の締結に基づき，北京大学との交換用にもう１冊分，ご寄贈くださいますようご協力をお願い致します。とりまとめは，附属図書館で行います。

榆　　蔭(北大図書館報)

平成22年度特別図書購入費による購入資料

特別図書購入費は，人文社会科学系の大学院における教育研究に必要な基本的図書資料を整備充実することを目的とした経費です。文学・法学・経済学各研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，公共政策大学院に資料の選定をお願いした結果，今年度の購入資料が決定しましたのでお知らせします。ご協力まことにありがとうございました。これらの資料は，納品され，整理が済み次第，順次，本館の書庫に配置します。

（洋書）

● Acta universitatis carolinae. Philologica. Slavica pragensia. -- Univ.Karlova. 1-19(1959-1976).（チェコ・カレル大学紀要　プラハのスラブ学）

● Acta universitatis carolinae. Philologica. Phonetica pragensia. -- Univ.Karlova. 1-3 (1967-1972).（チェコ・カレル大学紀要　プラハの音声学）

チェコのプラハ・カレル大学のスラヴ学と音声学の紀要。プラハは一般言語学の領域で，ヤコブソンやトルベツコイに始まるプラーグ学派と，その雑誌TCLPとTLP(Travaux du Cercle linguistique de Prague)の名前で有名であるが，それとは別にスラヴ学やスラヴ言語学の分野でも，19世紀後半から続く長い伝統がある。Slavica Pragensiaは，スラヴ言語学やチェコ語学などの研究を中心とした紀要で，この分野で主要な論文を数多く含んでいる。またPhonetica Pragensia は，カレル大学哲学部言語学科のRomportl教授が中心となって編集された音声研究の雑誌である。

● American land planning law. ; 8 v. -- West group (CBC).（米国土地利用法）

本書は，全米50州の土地利用に関する法について下された司法的な決定や意見，判断約15,000件を包括的に分析した総合的解説書である。都市計画におけるゾーニングおよび土地利用における優先権の変化について解説し，私的活動と政府権力との関係について記述している。また，排他的地域性，歴史的地区および商業地区，景観保存指定，アーキテクチュアレビュー等に関する凡例を分析し，オープン・スペース等の保存，州・地域による土地利用の管理，一時負担金等について論じている。

● Commercial damages : a guide to remedies in business litigation / Charles L. Knapp, editor-in-chief ; - 3 v. -- M. Bender, 1986.（商業上の損失の損害賠償）

本書は，民商法に跨る分野を扱うものである。日本においても，民法の分野の取引は民法研究者が，商法の分野の取引は商法研究者が検討してきた。しかし，日本では，民商法を横断的に研究することはなされておらず，本書はこれをしている点で有意義なものである。また，近年，日本でもremedy approachという考え方が提示されており，救済方法，とくに損害賠償において，損害をどのように把握するかという根本的な損害論の研究が必須であるが，米法における商業的な損害論を知る上でも，本書は有意義なものである。

● Conversation analysis / edited by Paul Drew & John Heritage ; 4 v -- Sage Publications, 2006. **(会話分析)**

本書は会話分析に関する重要論文をテーマ別に収録した総括的コレクションであり，社会学，言語学，コミュニケーション研究・教育に必要な基礎資料である。

● Économie et comptabilité. - Reprint ed. - Bad Feilnbach : Schmidt Periodical. (Originally published: Paris : Institut français des experts comptables). 186-232(1994-2005). **(経済学と会計　リプリント版)**

本誌はフランス公認会計士協会（IFEC）が刊行する機関誌で，フランス及びEU圏の会計に関連する多くの論文を掲載している。フランス会計研究においては必須といえる雑誌であり，特に国際会計基準の導入にあたって，欧州大陸諸国の状況を研究するために重要な刊行物と考えられる。また，特に近年の号では，税務，監査に関わる論文が多く掲載されていることも特徴の一つである。

● Encyclopedia of behavioral neuroscience / editors-in-chief, George F. Koob, Michel Le Moal, Richard F. Thompson ; 3 v.-- Amsterdam : Elsevier , 2010. **(行動神経科学百科辞典)**

本書は，行動神経科学に関する膨大なテーマを，210章からなるトピックでカバーした百科辞典である。各トピックは，それぞれの研究分野の権威が執筆し，行動神経科学の世界的権威であるG.F.Koob，M.L.Moal，及びR.F.Thompsonが編集している。扱われている具体的なトピックは，脳内で発現する遺伝子の働き，神経の構造や機能，学習，記憶，認知，さらに言語やコミュニケーション，対人関係などの社会行動にまで及ぶ。このように機能がどのようにして獲得されたのか進化論的な視点も加えられており，膨大で根源的な知見を網羅した初めてのレファレンスである。

● Die zu Geilers Lebzeiten erschienenen Schriften / Johannes Geiler von Kaysersberg ; herausgegeben von Gerhard Bauer ; Bd. 1, Bd. 2, Bd. 3. - Berlin : W. de Gruyter , 1989. (Ausgaben deutscher Literatur des XV. bis XVIII. Jahrhunderts ; 129, 139, 147 . { Sämtliche Werke / Johannes Geiler von Kaysersberg ; herausgegeben von Gerhard Bauer } ;T. 1 . Die deutschen Schriften ; Abt. 1). **(ヨハン・ガイラー・フォン・カイザースベルク全集，第一部，ガイラー存命中に出版された書籍集)**

ヨハン・ガイラー・フォン・カイザースベルクは15世紀後半から16世紀初頭にかけて活躍した神学者・神父である。フライブルク大学の神学教授となり，また学長にもなり当時のキリスト教世界をリードする立場で数々の貴重な文書を残した。しかしまもなく大学を去り，教会の聖職について数多くの「説教集」を残した。これらはどちらも宗教改革前夜のドイツ語圏における様相を伝えるだけでなく，教会での説教がどのような構成と内容であったかを知るためには欠くことのできない資料とされ，編者Gerhard Bauerの努力により全３部，計11巻が刊行される予定だったが，不幸にもガイラー存命中のドイツ語作品を集めた第一部３巻で断絶したものである。

● Harper, James and Gray on torts / Fowler V. Harper, Fleming James, Jr., Oscar S. Gray ; 6 v. -- New York : Aspen Publishers , 2006. **(米国不法行為法)**

社会経済の広範な領域において生じる不法行為法に関連する事項を解説するアメリカ不法行為法に関する最も権威のある大型体系書（treatise）である。

● Histoire du cinéma français : encyclopédie des films / Maurice Bessy, Raymond Chirat ; 1929-1934 - 1966-1970. - Paris : Pygmalion , 1986. **(フランス映画史 : 映画百科事典)**

フランス映画の最盛期を網羅する通史であり，類書のない貴重な基本文献である。

● Islamic medical and scientific tradition / edited by Peter E. Pormann ; 4 v. - London : Routledge , 2010. **(イスラーム医学・科学の伝統 : イスラーム学の重要概念)**

本書は中世イスラーム世界における科学・医学史の全体像に迫るべく，過去20年間における研究成果を精選収録したものである。イスラーム哲学と神学における科学の理論的枠組みから始まり，イスラームの科学体系における数学・物理学・医学の位置づけ，ギリシア科学との関係，知の探求に関するイスラームの神学的観点，物理学や天文学といった自然科学，生物学・医学・獣医学など生命科学，オカルト的な知に分類される占星術・錬金術・土占い，数学や光学，さらには実践的科学としての農学・工学・造園学に至るまでの様々な論考が含まれている。インデックスも完備し，研究者や学生にとってワンステップ・レファレンスとしての価値を持ち，イスラーム科学史に関する基本文献といえる。

● Kommentar zum Grundgesetz / begründet von Hermann v. Mangoldt ; fortgeführt von Friedrich Klein ; Herausgegeben von Christian Starck ; Bd. 1, Bd. 2, Bd. 3. -- 6. Aufl. -- Vahlen, 2010. **(マンゴルト，クライン，シュタルクの基本法コメンタール)**

本書は，ドイツ基本法のコンメンタールとして最も定評のある「マンゴルト，クライン，シュタルクの基本法コメンタール」の５年ぶりの改訂版であり，ドイツ基本法の数あるコンメンタールの中でも最も詳細なもののひとつでもある。本書の特徴は，４万ページ以上におよぶドイツ連邦憲法裁判所の凡例を体系的に解明し，それを主な憲法理論と対比している点にある。それと同時に，近時のEUの充実にともなって，ヨーロッパ法に言及するだけでなく，欧州の各国憲法の類似の規程にまでふれられている。

● Der Oesterreichische Volkswirt. - Reprint ed.. - Bad Feilnbach, Germany : Schmidt Periodicals. 25-31(1932-1945). **(オーストリア・エコノミスト リプリント版)**

本書は，両大戦間期～戦時期のオーストリアを代表する経済学・社会学・政治学の学術雑誌であり，第二次大戦後に，経済学界のみならず，政治・社会思想の分野で世界的な影響力を発揮したシュンペーター，ハイエク，ポラニー，ドラッカーなどが執筆し，編集に関わった雑誌として知られたものである。本書には，経済学，政治・社会思想，当時の世界情勢に関する経済・政治分析など，社会科学の多分野を網羅する論文が多数掲載されており，戦後に指導的な地位を築くことになる社会科学者や当時の大陸ヨーロッパの社会科学の状況を知るための一級資料である。

● Pragmatics : critical concepts / edited by Asa Kasher ; 6 v. - London ; New York : Routledge , 1998. (語用論 : 言語学の重要概念)

学際的な言語の科学としての語用論の発達を批評・検証する重要論文を収集したコレクション。前提，談話，文法，コミュニケーション，心理学などにおける問題を検証，収録外の論文のレファレンス，テーマ別・セクション別詳細索引を含む。

● Zoning and land use controls / by Patrick J. Rohan ; contributors, Gary I. Cohen ... [et al.] ; 11 v. - New York : M. Bender , 1990-. (ゾーニングと土地利用規制)

本書は，アメリカ合衆国における連邦・州・自治体の各レベルにおけるゾーニング，土地利用に関する法律および環境法を解説したものである。主たる内容として，排他的ゾーニング・上空権の移動・歴史的地区等，美観に関するゾーニング・日照権・環境影響報告書・汚染規制法・放射性廃棄物および危険廃棄物の管理・計画的一体開発・住宅に関する連邦規制・地方自治体による包括的開発計画・州および地域による計画的土地利用制度・立法，行政上のゾーニング手続・司法審査・分譲地規制・特別許可と適用除外について扱っている。

（和書，中国書）

● 大阪朝日. 外地版 ; 1941(昭和16年)全 9 巻. - 復刻版. - 東京 : ゆまに書房 , 2008.

朝日新聞社が，台湾，朝鮮，「満州国」などの読者を主な対象として発刊した『（大阪）朝日新聞』の「外地版」を集成復刻したもの。「外地版」が発行された1935年～45年のほぼ全期間を収録する。1941年（第 6 回配本）は「台湾版」「南鮮版」「西鮮版」「北鮮版」「中鮮版」「北支版・大陸版」「中支版」「北満州版」「南満州版」の全 9 冊からなる。

● 情報 / 三好章解説 ; 第 1 冊 - : 第 1 回配本セット(第 1 冊・別冊). - [復刻版]. - 東京 : 不二出版 , 2010.1 -. - (十五年戦争極秘資料集 ; 補巻35)

日中戦争，太平洋戦争が行われていた時期に，中国占領地行政を行うために興亜院が設立された。興亜院は後に大東亜省となるが，本資料は，興亜院および大東亜省が1939年から1945年まで刊行した資料であり，日中戦争，太平洋戦争期において，日本による中国占領地がどのような状況であったのか，を示す貴重な資料である。さらに，当時の日本側が入手しえた中国共産党解放区や中国国民党統治区に関する情報も盛り込まれ，中国近現代史にとっても重要な資料である。本資料は，不二出版が当時の『情報』を各地から収集し，復刻したものである。

● 大中华文库:汉英对照 = Library of Chinese classics : Chinese-English. - 北京 : 新世界出版社. (発売: 東京 : 大空社, 2010.3)

本シリーズは，中国の名著古典の英訳である。具体的には，『大中華文庫』委員会の企画のもと，実事求是の学術精神に基づき中国の文学・歴史・哲学・政治・軍事・科学技術などの各領域で最も代表的な百余点の名著古典書籍を精選し，すべての底本についてその内容と版本を入念に校勘・整理した上で，専門家が漢文から現代中国文に翻訳し，さらに現代中国文から英語に翻訳した画期的な叢書である。第 1 回配本の19種は周易・六韜・老子・詩経・論語・孫子兵法・孫臏兵法・墨子・孟子・荀子・荘子・黄帝四経・史記選・戦国策・黄帝内経素問・黄帝内経霊枢・傷寒論・洛陽伽藍記・顔氏家

訓である。特に孫子兵法や黄帝四経などは出土資料を整理した成果で貴重。また墨子・戦国策・傷寒論・顔氏家訓などの英訳も珍しい。

● **中國館藏滿鐵資料聯合目録 / 滿鐵資料編輯出版委員會編 ; 全30卷. - 上海 :东方出版中心 , 2007.1.**

1906から45年まで存続した満鉄（南満洲鉄道株式会社）が編集・整理・収蔵した厖大な情報資料や各種図書文献の，中国国内の図書館等55機関における所在を示す目録である。これまで作成されてきた満鉄資料の目録の中で最大規模で，総計約28万余件を全30巻に収める。そのうち中国語・日本語資料が22万余件（第１～22巻に収録），欧文・露文資料が約５万件（第27～29巻）という構成で，それぞれ検索の便のための索引が作成されている（23～26巻は中国語・日本語資料の索引，第30巻は欧文・露文資料の索引）。本編はいずれも「政治」「経済」「農業」「商業」「工業」「交通」「通信」「宗教」「言語」「教育」「芸術」「医学」などの分野に大別し，その中をさらに細分類して，書名順に排列している。記載項目には，題名・著作者（調査員名）・出版年・出版地・頁数・収蔵機関名等が著録されている。

● **NSC files (～July 1971) / [compiled by Osamu Ishii] = 国家安全保障会議文書 : 1971年７月まで / 石井修監修 ; 10 v. - Tokyo : Kashiwashobo , 2010. -（アメリカ合衆国対日政策文書集成 ; 26 . Nixon presidential materials = ニクソン大統領文書）**

ニクソン大統領時の米中国交回復に際してキッシンジャーが中国を訪問し，その瀬踏みをする過程の貴重なニクソン文書の一部である。米中和解については，26期から31期までに分かれており，26期分は2010年５月に刊行された。

● **日本植民地教育政策史料集成 : 台湾篇 / 阿部洋編 ; 別集１　台湾教育関係公文書 全12巻. - 復刻版. - 東京 : 龍溪書舍 , 2010.**

植民地台湾の教育制度・政策に関する公文書の集成。主に以下の３つの観点から重要文書を所収。①植民地台湾における教育制度の中核的な位置を占めた「台湾教育令」の制定・改正過程，②９つの帝国大学の１つである台北帝国大学の創設・再編過程，③戦時期の青少年教化，義務教育制度施行過程。日本および台湾の諸機関の所蔵資料を広く見渡しながら，とくに研究蓄積の乏しかった戦時期の施策に関する資料を収録している点が特徴である。

HUSCAP 世界ランキング第５位！

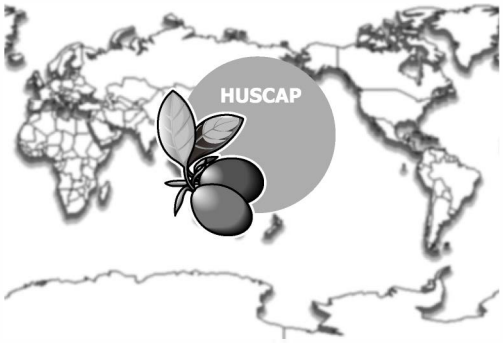
スペイン高等科学研究院が作成する世界リポジトリランキング（2011年１月版）の機関リポジトリのランキング（Top Institutional Repositories）において，HUSCAPが世界の1,120機関の中で，第５位 と評価されました。ランキングの第1位はハーバード・スミソニアン天文物理学センター（USA），第２位は欧州合同素粒子原子核研究機構：CERN（スイス），第３位は京都大学（日本），第４位は国立台湾大学（台湾）でした。

Ranking Web of World Repositories (January 2011):

http://repositories.webometrics.info/toprep_inst.asp

このランキングは，収録件数の多さ，他のサイト等からのリンクの多さ，本文PDFの多さ，Google Scholarでの検索されやすさ等の指標を同研究院が独自に測定し，ランク付けしているものです。

HUSCAPは本学研究者の皆様のご支援を賜り，2011年１月末現在で，収録文献数34,184件，総ダウンロード回数6,301,488回（その内，65％は海外222か国からの利用）に達しています。今後とも，HUSCAPをどうぞよろしくお願いいたします。



学術成果コレクション(HUSCAP)収録文献

（平成22年10月 1 日～平成23年 1 月31日）

新たに，218名の研究者の方々からご提供いただいた769件の文献を公開しました。

また，12研究科等の23タイトルの紀要（文献183件）も公開しました。

HUSCAPについて詳しくは，下記URLをご覧ください。

http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/

附属図書館では，本学の研究者が執筆した論文や学会発表資料等の文献を収集し，HUSCAPにて保存・公開しています。

新たに論文等を発表された際は，repo@lib.hokudai.ac.jpへファイルをお送りください。

ご協力よろしくお願いいたします。

（学術システム課）

会議（平成22年10月１日～平成23年２月28日）

【学　内】

◎学術研究コンテンツ小委員会

○平成22年度第３回〈12月24日（金）〉

◎学術成果発信小委員会

○平成22年度第３回〈２月24日（木）〉

◎図書選定小委員会

○平成22年度第３回〈11月10日（水）〉

○平成22年度第４回〈１月27日（木）〉

【学外】

◎国立大学図書館協会

○秋季理事会〈11月10日（水）〉（京都大学）

○北海道地区協会事務部課室長会議〈12月６日（月）〉（北海道大学）

◎第84次国立七大学附属図書館協会及び第９回国立七大学附属図書館長会議並びに第43回国立七大学附属図書館事務部課長会議〈10月27日（水）〉（東京大学）

◎北海道地区大学図書館協議会

○第１回幹事館会議〈11月５日（金）〉（北海道大学）

○第53回図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）

第５回〈10月１日（金）〉

○第54回図書館職員研究集会企画委員会（北海道大学）

第１回〈１月21日（金）〉

第２回〈２月25日（金）〉

◎北海道図書館連絡会

○北海道図書館連絡会議（北海道立図書館）

第２回〈12月２日（木）〉

◎日本医学図書館協会

○北海道地区総会〈１月20日（木）〉（旭川医科大学）

各委員会等委員変更について

高等教育推進機構の設置により以下の委員会委員の変更がありました

図書館委員会

所　　属	職名	氏　　名	電 話	任　　期	備　考
高等教育推進機構	教授	鈴木　　誠	7513	22. 4 . 1 ～24. 3 . 31	所属変更

北図書館委員会

所　　属	職名	氏　　名	電 話	任　　期	備　考
高等教育推進機構	教授	鈴木　　誠	7513	22. 4 . 1 ～24. 3 . 31	所属変更
工学研究院	教授	成田　吉弘	6414	22.10. 8 ～24.10. 7	継続
外国語教育センター	教授	佐藤　俊一	5420	22.10. 8 ～24. 3 . 31	新任

学術研究コンテンツ小委員会

所　　属	職名	氏　　名	電 話	任　　期	備　考
高等教育推進機構	教授	鈴木　　誠	7513	22. 4 . 1 ～24. 3 . 31	所属変更

図書選定小委員会

所　　属	職名	氏　　名	電 話	任　　期	備　考
高等教育推進機構	教授	鈴木　　誠	7513	22. 4 . 1 ～24. 3 . 31	所属変更

人事往来（平成22年11月 1 日～平成23年 2 月28日）

【平成22年11月 1 日付発令】

［採用］

菊　地　隆　憲　附属図書館管理課（雑誌受入担当）

図書館情報入門・セミナー等開講日誌（平成22年10月１日～平成23年２月28日）

図書館情報入門（計10回）

日　程	曜日	講義題目（時間 90分）	所　　属	担当教員	受講人数
10月13日	水	近未来社会とマテリアル工学の夢	エネルギー・マテリアル融合領域研究センター	黒川　一哉	12
10月14日	木	女性と健康	保健科学研究院	佐川　　正	21
10月19日	火	ロシア文学の「奇妙な愛」	スラブ研究センター	望月　哲男	15
10月21日	木	生殖医学（女性医学）概論	医学研究科	櫻木　範明	15
10月27日	水	パッチアダムス研究-現代医療が失ったもの-	医学研究科	川畑　秀伸	18
10月28日	木	聞く力・話す力のトレーニング	高等教育推進機構	三上　直之	19
11月４日	木	暮らしの中の放射線	獣医学研究科	稲波　　修	21
11月５日	金	素晴らしい無線通信の世界	情報科学研究科	小川　恭孝	19
11月16日	火	水の科学（環境・エネルギー～生命）	工学研究院	内田　　努	6
11月18日	木	建築と都市	工学研究院	小澤　丈夫	23
				受講人数計	169

文献探索ワークショップ（計４回）

日　程	曜日	講義題目	所　　属	担当教員	受講人数
10月18日	月	歴史の視座	文学研究科	渡邉　　浩	5
11月29日	月	日本経済史	経済学研究科	内藤　隆夫	5
12月６日	月	比較文化論	留学生センター	青木麻衣子	20
12月15日	水	フィールドバイオサイエンス	北方生物圏フィールド科学センター	上田　　宏	8
				受講人数計	38

ライブラリーセミナー（計10回）

日　程	曜日	題目（時間60分）	受講人数
１月25日	火	PubMed/MEDLINEの使い方	2
１月27日	木	新聞記事の探し方	2
２月２日	水	雑誌論文の探し方（海外雑誌編）	5
２月４日	金	雑誌論文の探し方（国内・海外雑誌）	1
２月８日	火	雑誌論文の探し方（科学技術編）	2
２月10日	木	PubMed/MEDLINEの使い方	3
２月14日	月	新聞記事の探し方	7
２月16日	水	雑誌論文の探し方（国内雑誌編）	7
２月22日	火	雑誌論文の探し方（海外雑誌編）	2
２月24日	木	雑誌論文の探し方（科学技術編）	3
		受講人数計	34

データベース講習会（計７回）

日　程	曜日	題　　目	開講場所	受講人数
12月１日	水	SciFinder講習会	薬学部	14
12月１日	水	SciFinder講習会	農学部	6
12月１日	水	SciFinder講習会	理学部	2
12月１日	水	SciFinder講習会	薬学部	3
12月２日	木	SciFinder講習会	工学部	1
12月２日	木	SciFinder講習会	工学部	13
12月２日	木	SciFinder講習会	附属図書館	1
			受講人数計	40

図書館日誌（平成22年10月１日～平成23年２月28日）

月日	項　　目
10月	
1	第53回図書館職員研究集会第５回企画委員会（学術システム課）
4	大学図書館職員短期研修（京都大学）（利用支援課）
8	国立大学図書館協会北海道地区協会セミナー「次世代ライブラリアンシップのための基礎知識　第２回」（遠友学舎）
13－14	平成22年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」（百年記念会館）（利用支援課,学術システム課）
14	図書館年鑑2011第１回北海道ブロック会議（北海道立図書館）（利用支援課長）
18	北海道地区国立大学法人等係長研修（旭川）（利用支援課）
20	自衛消防訓練（本館）
21	HUSCAP５周年記念講演会（学術交流会館）
25	事務情報化講習会Access初級(管理課)
25－11/12	本は脳を育てる」企画展示（北図書館）
27	第84次国立７大学附属図書館協議会･第９回附属図書館長会議･第43回事務部課長会議（東京大学）（部長,管理課長）
11月	
4	平成22年度第７回ホームページ委員会
5	平成22年度第１回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議（利用支援課長） HUSCAP説明会（先端生命科学研究院）
8－１/13	鈴木章名誉教授ノーベル賞受賞記念図書展示（北図書館）
9	第１回（人文系部局）附属図書館改修工事に伴う図書再配置計画案説明会
10	国立大学図書館協会秋季理事会（京都大学）（館長,部長,管理課長） 国立大学図書館協会総務委員会（京都大学）（部長） 平成22年度第３回図書選定小委員会
17－18	平成22年度学術情報リテラシー教育担当者研修（NII）（利用支援課,学術システム課）
18－19	DRF地域ワークショップ（中国・四国地区）（広島経済大学）（学術システム課）
19	平成22年度第８回ホームページ委員会
24－26	第12回図書館総合展（横浜）（管理課,利用支援課,学術システム課）
25	第７回DRFワークショップ（横浜）（館長,部長,学術システム課）
24－26	平成22年度事務職員プレゼンテーションスキル講習会（情報基盤センター）（利用支援課）
12月	
2	平成22年度第２回北海道図書館連絡会議・「第53回（平成23年度）北海道図書館大会」第１回運営委員会（北海道立図書館）（利用支援課長）
2	図書館第２期改修工事ヒアリング
3	国立大学図書館協会シンポジウム(お茶の水女子大学)(管理課) 第１回什器・書架仕様策定委員会
6	2010年度SINET&学認説明会（学術システム課） 平成22年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議（部長，管理課長，利用支援課長，学術システム課長）
7	学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会WG1（NII）（学術システム課）
8－10	NACSIS-CAT/ILLワークショップ（NII）（学術システム課）
10	NII・国立大学図書館協会共催シンポジウム（東京大学）（部長,学術システム課） 北海道地区私立大学図書館協議会職員研究集会（北翔大学）（利用支援課） 第２回什器・書架仕様策定委員会
13	国立大学図書館協会協会賞専門委員会（お茶の水女子大学）（部長）
13－17	機関リポジトリ実務研修会（北海道大学）（学術システム課）
15－16	平成22年度北海道大学学生支援担当職員SD研修（利用支援課）
16	HUSCAP説明会（理学研究院数学科）
17	HUSCAP説明会（農学研究院） 第１期改修工事顔合わせ（工事事務所）（部長，管理課，利用支援課，学術システム課）
21	学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会WG1・タスク４（NII）（学術システム課）

月日	項　　目
22	学務部レクチャー（部長，管理課，利用支援課，学術システム課）
	第１回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
24	平成22年度第３回学術研究コンテンツ小委員会

１月

7	第１回集密書架仕様策定委員会
	第２回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
12	平成22年度第３回楡蔭編集委員会
14	図書館年鑑2011第２回北海道ブロック会議（北海道立図書館)(利用支援課長)
	第３回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
17	国立女性教育会館パッケージ貸出サービス開始
18	国立大学図書館協会シンポジウム（東京大学）（副館長）
18－20	事務情報化講習会Access中級（管理課，利用支援課）
20	日本医学図書館協会北海道地区総会（旭川医科大学）（利用支援課）
21	第54回図書館職員研究集会第１回企画委員会（管理課，利用支援課）
	国立情報学研究所第２回学術コンテンツ運営連携本部会議（NII）（館長）
	平成22年度第９回ホームページ委員会
	図書系出向者連絡会
	第４回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
24－25	事務情報化講習会Access初級(管理課,利用支援課,学術システム課)

月日	項　　目
25	平成22年度第３回北海道図書館連絡会議・「第53回（平成23年度）北海道図書館大会」
	第２回運営委員会（北海道立図書館）（利用支援課長）
27	平成22年度第４回図書選定小委員会
28	第５回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）

２月

3	自動化書庫調査報告会
4	第６回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
	DRF技術ワークショップ(旭川医科大学)(利用支援課，学術システム課)
9	平成22年度目録システム/ILLシステム講習会担当者会議（NII）（学術システム課）
9－10	機関リポジトリ地域コミュニティ活性化および人材育成のための実務検討会議（広島大学）（学術システム課長，学術システム課）
14	第７回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
16	第２回（人文系部局）附属図書館改修工事に伴う図書再配置計画案説明会
17	「名寄せのこれから～研究者IDサミット～」ワークショップ（ＮＩＩ）（学術システム課）
18	第８回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）
24	平成22年度第３回学術成果発信小委員会
25	第54回図書館職員研究集会第２回企画委員会（管理課，利用支援課）
28	第９回改修工事定例会議（工事事務所）（管理課）

北海道大学附属図書館報「楡蔭」（ゆいん）　**第137号**　平成23年３月30日発行

〈編　集〉　「楡蔭」編集委員会

〈発　行〉　北海道大学附属図書館　〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目
TEL ： 011-706-2967　FAX ： 011-747-2855　ホームページ　http://www.lib.hokudai.ac.jp